【学校通信】

平成30年6月27日

第5号

西中の風

～継続と徹底～

伊丹市立西中学校長

大西　規之

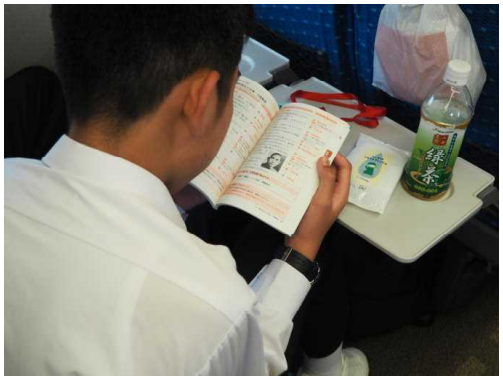
これまでの行事を振り返って（Ⅰ）

早いもので、１学期も残り１ヶ月弱となりました。生徒は落ち着いた学校生活を送り、６月３０日（土）から始まる市総体に向けて部活動に励んでいるところです。

さて、これまでの１学期の大きな行事を振り返ってみたいと思います。まず最初に、５月１５日（火）からの３日間、３年生が九州方面に修学旅行に出かけました。５台のバスの内、３名のバスガイドさんは昨年の３年生のガイドをしていただき、長崎平和公園での平和セレモニーで歌った「大地讃頌」のあまりの素晴らしさに号泣された方たちでした。残りの２名は西中のガイドをされるのは初めてだったようですが、昨年号泣された３名のガイドさんから西中の合唱の素晴らしさを聞かれていたようで、今年の３年生の「大地讃頌」の合唱を楽しみにされていたようです。２日目の朝、周りで多くの学校がセレモニーをしたり、記念撮影をしたりする悪コンディションの中、見事に伝統の「大地讃頌」を歌い上げました。初めて聞かれた２名のガイドさんはその素晴らしさに号泣されていました。今年の修学旅行でも、地元の人に感動を呼び起こす伝統の合唱を行うことができました。



３日間の行程をすべて終え、帰路につく新幹線で、寝ている人が多い中、疲れているはずなのに何人かの生徒が１週間後にひかえた中間テストの試験勉強をしていました。修学旅行に勉強道具を持って行っていたことも驚きでした。最近の西中生を見ていると、テスト前に塾で朝早くから勉強してから登校する人、いつもより早く登校して教室で勉強する人、少し危険ですが勉強しながら登校する人などをよく見かけます。「勉強するときはする」という伝統ができつつあるのではないでしょうか。



日々ホームページを更新しています

スマートフォンでパソコンと同じ画面で見る方法をお知らせします。

